

2023年大河ドラマ「どうする家康」



放送決定！

「どうする岡崎重層事業？」

岡崎市の概要

中核市

人口 385,676人 (R3.9.1)

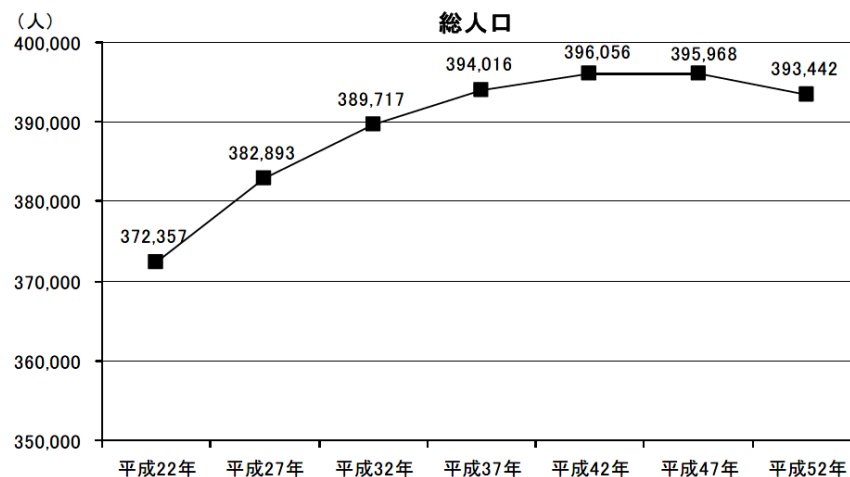
世帯数 166,261世帯

高齢者数 91,934人

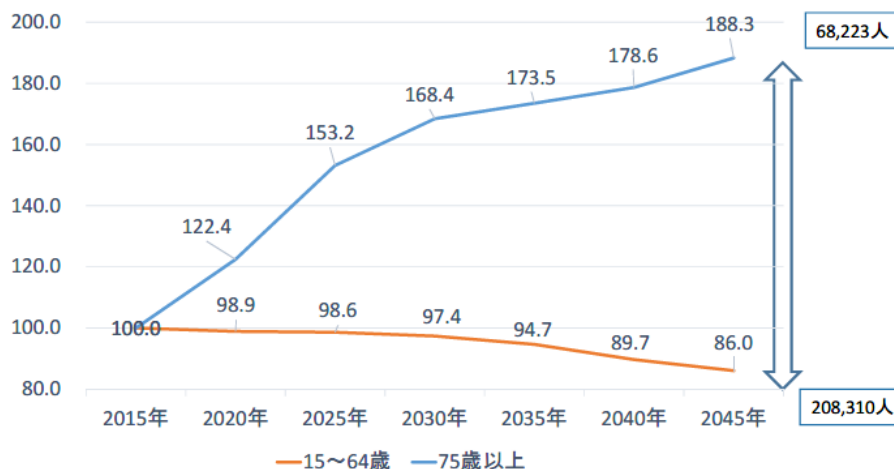
高齢化率 23.8%

面積 387.20km²

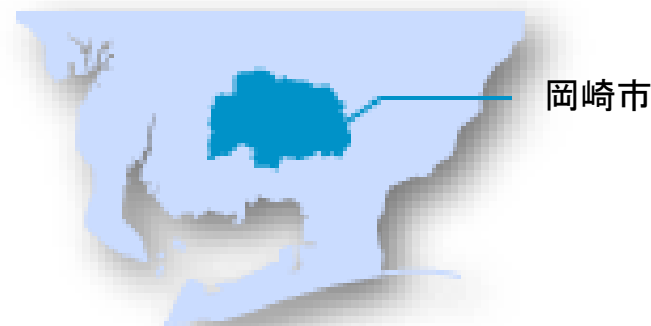
図表-11 人口推計結果（市全域）



岡崎市の人口推移（2015年を100とした場合）

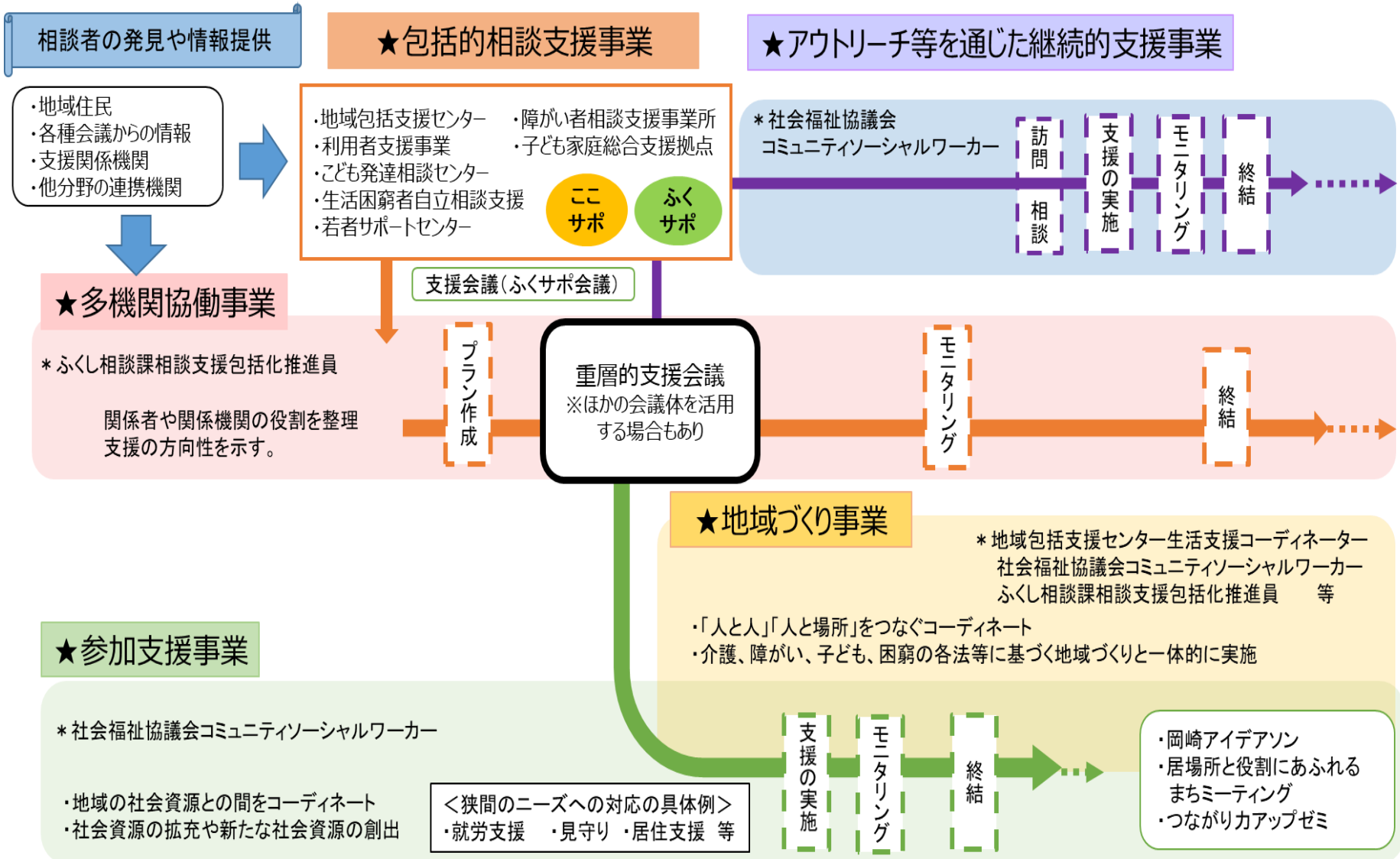


(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」
※2015年を100とした場合の2045年までの推計値



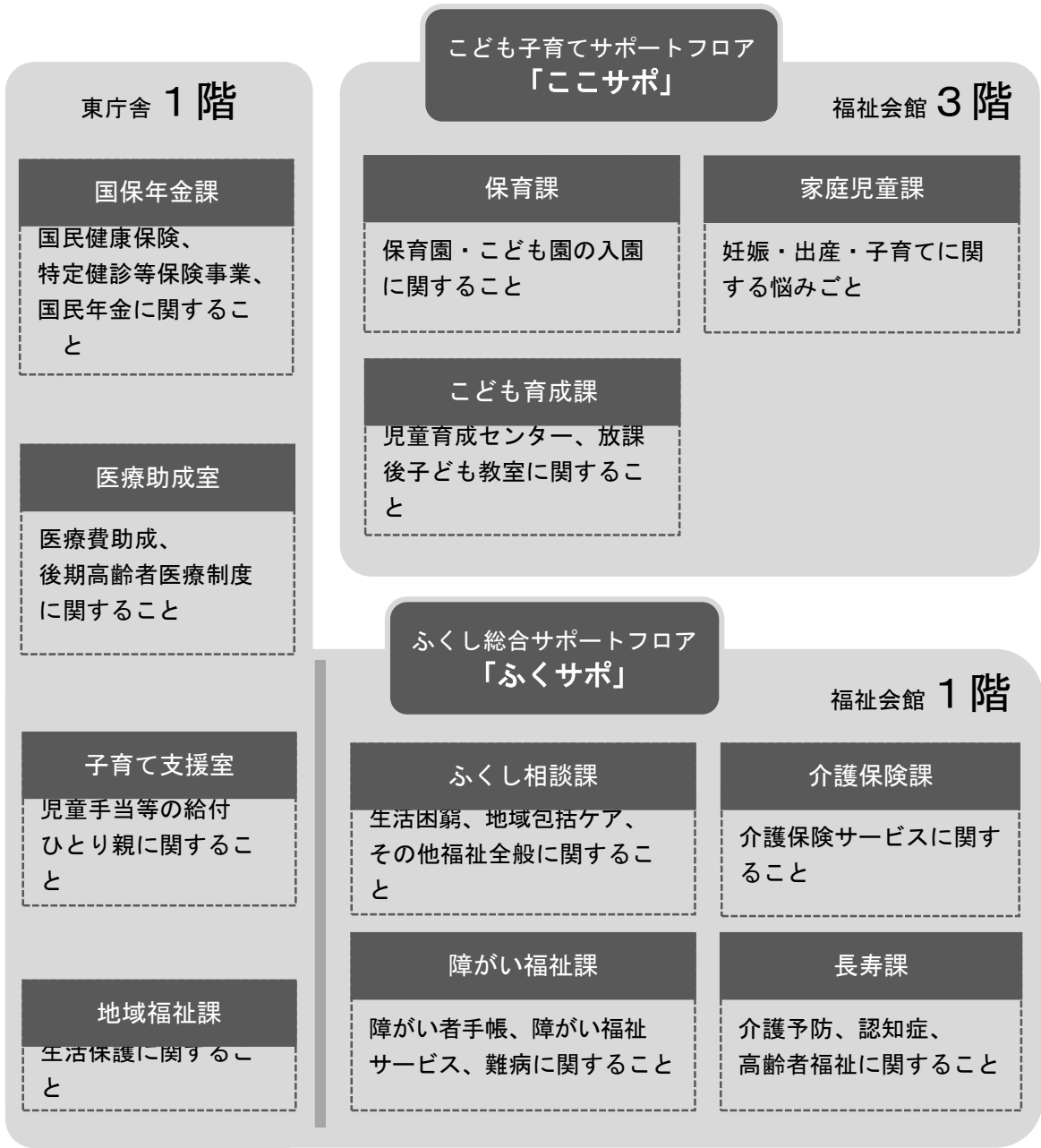
自治会加入率90%

重層的支援体制整備事業



社会福祉法		機能	既存制度の対象事業	業務名	主な事業内容 (※令和3年度からの事業)	
相談支援 (断らない相談)	1	包括的相談支援事業	【介護】 地域包括支援センターの運営	地域包括支援センター支援業務	地域包括支援センター (社協ほか)	
			【障がい】 障害者相談支援事業	障がい者地域生活支援業務	障がい者基幹相談支援センター (社協ほか)	
			【子ども】	利用者支援事業 (基本型)	地域子育て支援センター運営業務 (新規)	総合子育て支援センター (城北保育園内) ※ここサポ相談窓口 (会計年度任用職員給与費等)
				利用者支援事業 (母子保健型)	妊産婦・乳幼児保健指導業務	利用者支援事業 (保健所) ※利用者支援事業 (市役所)
			【困窮】 自立相談支援事業	生活困窮者自立相談支援業務	生活困窮者自立相談支援事業 (愛恵協会)	
	5	多機関協働事業	【新】	相談支援機関等支援業務	※多機関協働事業 (ふくし相談課相談支援包括化推進員)	
	6	支援プランの作成	【新】		※伴走型支援事業 (社協) CSWによるアウトリーチ	
	4	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	【新】			
	参加支援	2	参加支援事業	【新】		
	地域づくり	3	地域づくり事業	【介護】 一般介護予防事業 (地域介護予防活動支援事業)	地域介護予防活動支援業務	介護予防教室、ごまんぞく体操
【介護】 生活支援体制整備事業				生活支援体制整備業務	基幹包括支援センター (社協) 生活支援Co 地域包括支援センター 生活支援Co 20包括	
【障がい】 地域活動支援センター事業				障がい者地域生活支援業務 友愛の家整備運営業務	生活支援センター山中 友愛の家	
【子ども】 地域子育て支援拠点事業				つどいの広場運営業務	つどいの広場 なごみん、よりなん、やはぎかん むらさきかん、悠紀の里、げんき館	
				地域子育て支援センター運営業務	総合子育て支援センター 地区子育て支援センター 六ツ美中、島坂、竜谷、岩松	
【困窮】 共助の基盤づくり事業				生活困窮者自立相談支援業務	※CSWによる地域づくり	
		一括交付金 対象外 × 未来投資計画 対象		生活困窮者自立相談支援業務 家庭児童相談業務 乳児家庭全戸訪問業務 妊産婦・乳幼児健康診査業務 子ども若者育成支援業務	※生活困窮者家計改善支援事業 ※生活困窮者アウトリーチ支援事業 子ども家庭総合支援拠点 ごんにちは赤ちゃん事業 妊婦健康診査、産婦健康診査、乳児健康診査 ※若者サポートセンター	

物理的な連携(=市役所窓口の改修:令和2年度工事)



ふくし相談課の業務

＜地域支え合い係＞

- ・多機関協働事業（相談支援包括化推進員）
- ・地域包括ケア関係（包括的支援事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、地域ケア会議推進事業）
- ・地域福祉
- ・成年後見支援制度
- ・生活困窮者自立支援金

＜くらしの相談係＞

- ・生活困窮者自立支援制度（生活困窮者自立相談支援事業[委託]、住居確保給付金、就労準備支援事業[委託]、一時生活支援事業、家計改善支援事業[委託]、子どもの学習・生活支援事業[委託]、アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業[委託]、共助の基盤づくり事業[委託]、ホームレス自立支援）



社協：基幹型包括、参加支援、アウトリーチ、若者サポートセンター
愛恵協会：自立相談、就労準備、就職氷河期アウトリーチ

一体的に実施

支援会議・重層的支援会議

支援会議(ふくサポ会議)・・・本人同意なし、ふくし相談課が主催

重層的支援会議・・・・・・・・本人同意あり、ふくし相談課が主催

◆ふくサポ定例(月1回)

メンバー:参加支援事業者、アウトリーチ継続支援事業者
基幹型地域包括支援センター、生活困窮者自立支援相談事業者、
住宅計画課、ふくし相談課(包括化推進員)

◆ここサポ定例(月1回)

メンバー:警察、児童相談所、教育委員会、家庭児童課、保育課、
健康増進課、ふくし相談課(包括化推進員)

◆随時

個別のケース会議等と兼ねて実施しているもの

(ケース会議、個別ケア会議、支援調整会議、コアメンバー会議等を想定)

メンバー:上記 + 支援機関

支援会議・重層的支援会議実績

R3年度実績(報告済分のみ)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
支援会議	ふくサポ定例	1	1							2
	ここサポ定例		1	1	1	1	1	1	1	7
	その他			1		1				2
計		1	2	2	1	2	1	1	1	11
重層的支援会議	ふくサポ定例		1	1	1	1		1	1	6
	その他	1	2	2						5
計		1	3	3	1	1	0	1	1	11

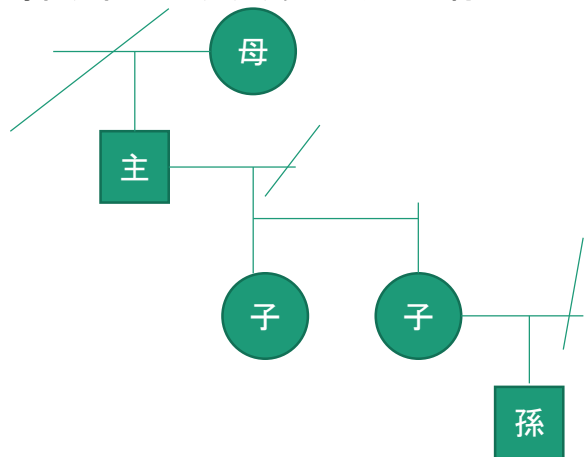
多機関協働事業・参加支援事業・アウトリー実績

R3年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
多機関協働事業	4	8	11	15	15	25	29	29
アウトリーチ等による継続支援事業	9	9	10	11	12	12	12	12
参加支援事業	3	3	3	3	3	4	4	5

(ケース)ダブルケア

- 世帯主(70)
- 母(90)要介護2、デイサービス週2回利用中
- 子(姉)(40)精神2級、就労支援利用中
- 子(妹)(35)発達障害
- 孫(妹の子)(2)発達遅れ有



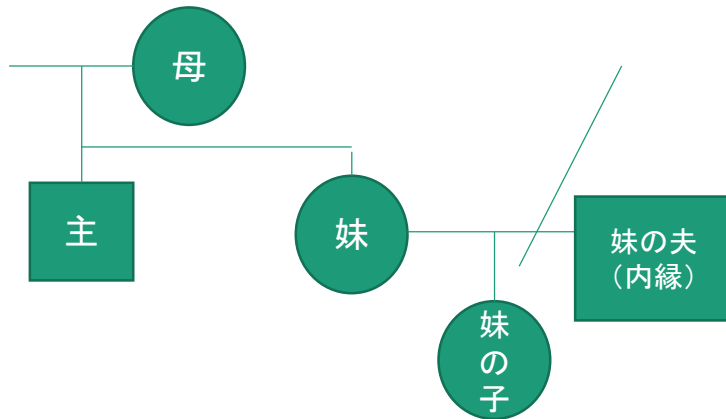
◎生活状況、課題

- 子(妹)は発達障害疑いで育児できず
- 子(姉)と世帯主が育児や母の介護を担う
- 子(姉)のケアの負担度合いが大きい
⇒精神障がいもあるので就労意欲にも悪影響が及んでいる
- 孫(妹の子)にも発達遅れの兆候有
- 孫は保育園に行っていない

- 子(姉)の精神面のサポート⇒障がい支援事業所、就労支援事業所による精神ケアや労働環境整備
- 孫への支援⇒保健所介入による医療機関への受診支援
家庭児童課等の関係部局へつなぎ保育園入園の手続きなど促す
- 介護サービスの適正な導入⇒ケアマネジャーに取次ぎデイサービスの回数を増やす

(ケース)ひきこもり&ゴミ屋敷&高齢者虐待

- 世帯主(58)無職、ひきこもり
- 母(85)入院、老齢年金受給
- 妹(55)無職、別住所地に内縁の夫あり
- 妹の子(35)パート就労中



◎生活状況、課題

- 母 ネグレクトによる脱水症状で入院
- 主、妹ともに無職で十分な収入がない
- 家のローンが支払えず競売にかけられそうになっている
- 主 自宅の部屋に引きこもっている、ペットボトルに排尿するなど生活能力に課題が見られる

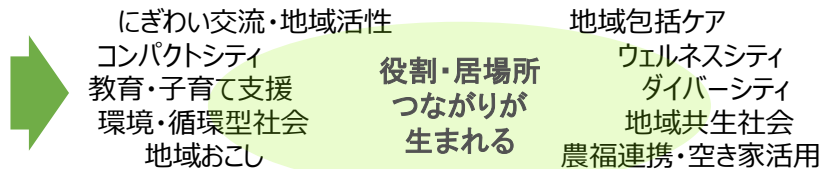
- 虐待への対処⇒退院後は年金受給額内の老人保健施設入所にさせるよう手配
- ひきこもり支援⇒就労支援につなげられるように社会福祉協議会のアウトリーチ(訪問)にて接触を図る
- 住環境整備⇒参加支援でごみ処理の支援

地域共生社会の実現に向けた地域コミュニティづくり

居場所と役割にあふれるまちを目指して

丸ごと相談&つなげる支援で人・暮らしを中心に据えた分野を超えたまちづくりを！

- 世帯の複合問題への対応
- 制度にない課題への対応
- 自ら相談に行く力がない人への支援
- 社会とつながる伴走支援

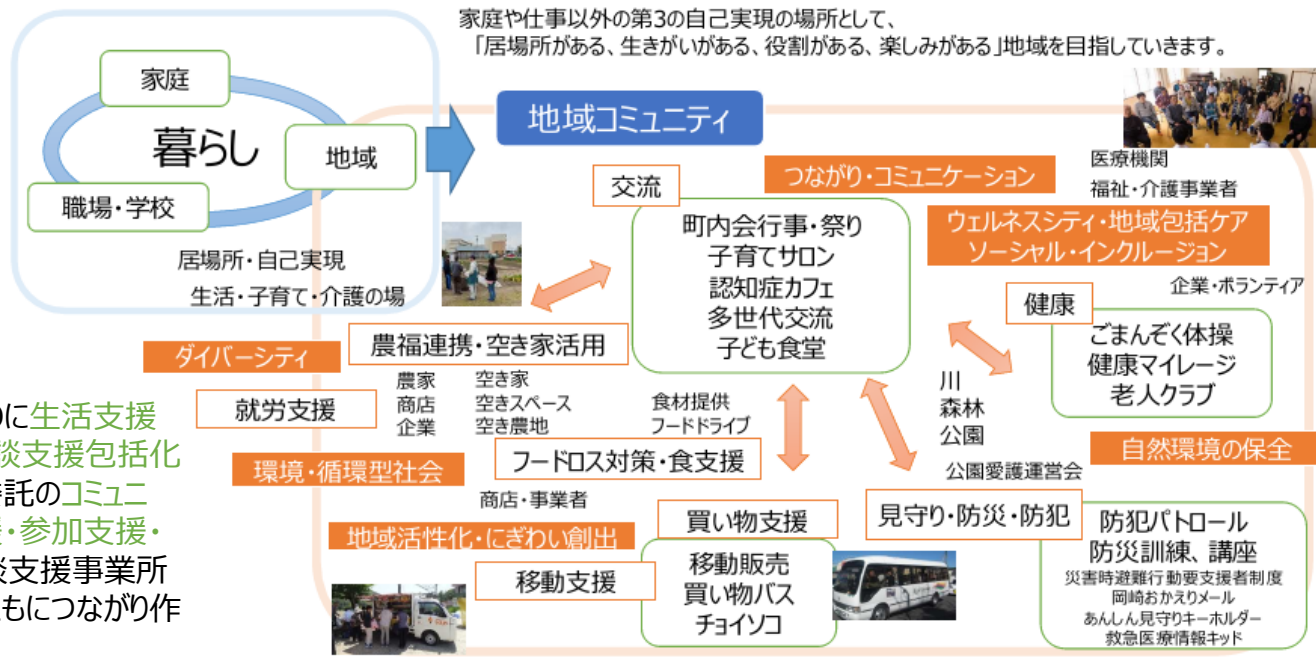


【自治体概要】

人口	385,676人
世帯数	166,261世帯
面積	387.20km ²
小学校数	47(市立のみ)
	2021年9月1日現在

● 市役所窓口の一体化

福祉相談支援機関を集約した、こども子育てサポートフロア「**ここサポ**」、ふくし総合サポートフロア「**ふくサポ**」を設置。相談窓口をわかりやすくするとともに、支援機関の連携体制を構築した。



● 福祉分野を超えた地域づくり

20か所の地域包括支援センターとNPOに生活支援コーディネーター、「ふくサポ」に直営の相談支援包括化推進員（多機関協働事業）、社協委託のコミュニティソーシャルワーカー（アウトリーチ支援・参加支援・地域づくり事業）を配置。障がいの相談支援事業所等の他分野の地域づくりキーパーソンとともにつながり作り。

通いの場&地域リハビリテーション



民間&学生のアイデア出し



アイデアソンから誕生



企業&地域&包括



企業&地域



第4次岡崎市地域福祉計画(令和4年度～令和8年度)

第1章 計画の基本事項

- 1 計画の位置づけ
- 2 計画の期間

第2章 計画の基本理念と目標

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 施策体系

第3章 今日的な課題に対する取組

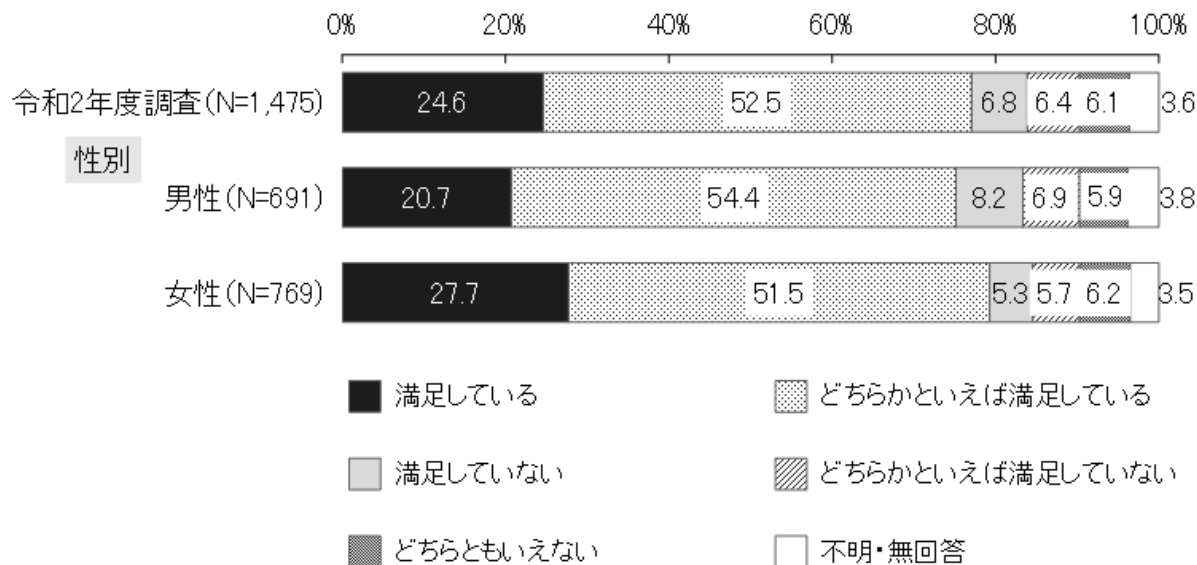
- 1 重層的支援体制整備事業の推進(岡崎市重層的支援体制整備事業実施計画)
- 2 SDGsの推進
- 3 成年後見制度の利用促進(岡崎市成年後見制度利用促進計画)
- 4 再犯防止の推進(岡崎市再犯防止推進計画)

第4章 施策の基本方針

- 1 お互いを認め支えあう心を育て、地域のつながりを深めましょう
- 2 安全で安心して暮らせる地域をつくりましょう
- 3 ころ豊かに暮らす地域社会をめざしましょう

問：あなたは、今の生活に満足していますか。

令和2年度地域福祉に関する市民意識調査



問：将来あなたが人生の最期を迎える時、それをどこで迎えたいですか。

令和元年度介護保険等実態調査

